

会 議 録

1 会議名

平成30年度 第5回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）金谷区の地域課題の今後の進め方について（公開）

3 開催日時

平成30年8月22日（水） 午後5時59分から午後7時35分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、伊崎博幸、伊藤三重子、牛木喜九、齋藤邦博、高橋敏光、竹内恵市、土屋博幸、永野起男、山口茂幸、吉村清正

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、佐藤係長、小林主任

8 発言の内容

【小林主任】

・石野委員、桑山委員、西条委員を除く13名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：伊藤委員、牛木委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

一次第3議題（1）金谷区の地域課題の今後の進め方について一

【高宮会長】

次第3議題（1）「金谷区の地域課題の今後の進め方について」に入る。

「金谷区の地域課題」の取り上げ方を決めてから、現在に至るまでの経緯について確認する。

「金谷区の地域課題」の取り上げ方を決めた経緯について資料No.2により説明。

その結果、取り上げたい委員が一番多かった「他団体や他地区との連携」が取り上げられ、現在取り組んでいる。金谷区の地域団体が、どのような活動をしていて、普段の活動の中でどのような課題を感じているかを知るために、まず住民の生活をサポートする団体10団体と意見交換を行うこととし実施した。

ここまでの説明について質疑を求めるがなし。

前回会議では、10団体と意見交換した結果を各委員で共有し、地域協議会としては議題として取り上げないことに決まった。

本日は、「他団体や他地区との連携」の中で、それ以外に取り組むべきことがあるかどうかを協議することでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

6月に意見交換した10団体の他に、活動内容や普段感じている課題等について話を聞きたい団体があるかどうか、委員に意見を求める。

【川住副会長】

残った団体を見ると、地域協議会委員が会長なり役員を務めている団体が非常に多いため、新たに呼んで話をしなくても、この中で知っている方から話をしてもらう程度でよいのではないか。趣味・サークルの団体については該当する方はいないと思うが、どういったことをしているか想像がつくため、呼んで話をする必要性が

あるかどうかと思う。

【高橋委員】

川住副会長のとおりでよい。

【竹内委員】

施設等を運営している団体について、以前うちの町内に、くわどり湯ったり村とヨーデル金谷の営業活動で来た方がいる。声を掛ければ町内などに来てくれるため、そういったことも利用すれば、ここに来てもらわなくても内容が分かるのではないかな。

【吉村委員】

私も川住副会長のとおりだと思う。

【高宮会長】

話を聞きたい団体はこれ以上ないことでよいかについて諮り、委員全員の了承を得る。

「他団体や他地区との連携」の中で、その他に取り組むことがあるか協議する。

正副会長としては、「他団体や他地区との連携」は、これ以降の課題を取り上げていく中でも必要になることから、一旦保留にし、課題の協議を進める中で必要に応じて他団体等と連携していくようにしたいと考えている。

この他に意見を求めるがなし。

正副会長案のとおりとし、「他団体や他地区との連携」の中では他に取組まないことでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

取り上げる優先順位から、次は「雨水排水」を取り上げることでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

「雨水排水」を取り上げるにあたり、まず今後どのように協議を進めていくかを決める。進め方について、委員に意見を求める。

【高橋委員】

「雨水排水」について、私は振興協議会の方で携わっている。今年は雨が少なくそれほど被害は出ず、逆に干ばつで困っていたが、昨年までは雨が降ると大変だという地域がある。それは1か所2か所ではないため、その人たちに声をかけ、説明

してもらい、皆で内容を共有、理解し合う。最初に現場の声を聞き、それからどうするかということになるのではないかと思います。今、実際に市や県と話しているのは古川と前川の関係。青木、灰塚、上中田周辺の、山麓線を境にして新しい団地まで水が浸かりそうだという話を聞き、視察もしている。また、中田原の工場を中心としたゴルフ練習場の辺りは水が浸かって困ると聞いている。それから今日ここには関係者がいないが、昭和町2丁目でも県道辺りの排水の具合が悪く、大水になって困っていると。今その場所を測量するかどうかという話が出ているが、その辺りの事情もよく聞いていきたい。それから、排水の問題については、うちの御殿山町内もそうだが、大貫、平山もそう。村田副会長のところは、大貫か。

【村田副会長】

大貫と平山の境界である。

【高橋委員】

御殿山は私が分かっているが、その辺りの方から振興協議会の方でよく課題として話が出る。その辺りの関係町内会の代表を呼び、ここで実情を聞いた方が、本人たちも気が楽になると思う。そういった事情を踏まえた上でどうするかというのは、その後になると思う。まずはそれが第1歩目だと思う。

【山口委員】

古川だが、これは上門前の方から流れている田んぼの排水路であり、通称「大排（だいはい）」と呼ばれている。大排水路が中江用水と並行して流れている。大排の繋ぎ目から中田原の下（しも）に行き、最終的には青田川に繋がる。昔から大雨になると水が全てそこに集まる。今一番ネックになっているのは、中江用水と交差する場所で、またいで通るため流量が少ない。そして山麓線の開通により、さらに悪化して、毎年そこはネックになっている。これはちょっとやそっとの改修では駄目である。大々的に予算をつけて直さなくては駄目。全部付け替えとなると県、国くらいの規模で、市では駄目である。工程も、近隣の青田川の方に流せる勾配がないという矛盾がある。そのため、これは大々的に県、国の方に予算申請をPRしないと駄目である。

今日は石野委員がいないが、上（かみ）の方では、今年は干ばつであまり目立た

なかったが、前川の方で今工事を進めている。

先ほど高橋委員が言われたが、中田原の方の下水は今かさ上げをしており、あとは舗装だけ。両端の通路は下（しも）の方に流れるように勾配を取り直しており、間もなく完成するだろう。

大きな問題であるため、あらゆる角度から提起しながら、県や国にアクションを起こしていかないと解決できない問題である。その辺りを承知してほしい。

【高宮会長】

今高橋委員や山口委員から説明があった。高橋委員からは大貫、御殿山、昭和町、中田原という話だったが、「雨水排水」の皆さんの意見の中にあっただのは、先ほど山口委員の話のとおり、前川、古川については、山麓線ができたために水があふれるという話であり、前川、古川を中心としたものと私は受け取った。高橋委員から現場の声を聞くとあったが、南部地区の次に大貫、御殿山、昭和町等々の「雨水排水」を見ていけばよいと思う。山口委員から前川、古川辺りの現状の話があったが、今日は南部の方の「雨水排水」の現状を聞くことを正副会長で決め、山口委員に個別に説明をお願いした。山口委員の説明を皮切りに、南部の「雨水排水」をどうするか、その次に御殿山、昭和町、大貫の関係の「雨水排水」に取り掛かって行けばよいと思う。

今日は山口委員から前川、古川の用水について説明してもらうことでよいか、委員に意見を求める。

【高橋委員】

山口委員だけではなく、青木の町内会も入れないと話が進まないと思う。

【高宮会長】

そこもフォローしてほしい。

【高橋委員】

範囲がすごく広い。灰塚だけの問題ではない。

【吉村委員】

高橋委員の意見のとおりである。今ほど山口委員はどういった立場で話されたのか。町内会長会の立場か、振興協議会の立場か。というのは、高橋委員のとおり、

上門前、馬場、小滝、各町内独自である。連結して1本の川、用排水になっているが、そのポイントだけで起きているのではなく、順々に上（かみ）から集まり、最終的にどこかで不合理が起きている。そのため、それに関わる町内の、しかもそのことに役職上責任を持っている方や、よく承知している方の話を聞き、それから順次整理していくことになるのではないかと。町内会長会などの立場で市に直接アクションを起こしていたり、市議、県議を通してアクションを起こしている可能性もある。そういった話は今どうなっているのかについても把握しておかないといけない。今まで出ている問題と重複していると自覚していればよいが、出した後に、「出ていたのか」という話だと腰が弱い気がする。各関係先の責任のある方から、なるべく具体的に細かい話や現在の進捗状況を確認し、できれば用排水系の地図などに問題点を整理して明らかにしないとダメな気がする。農地の中に作る用排水が上中田の裏でおかしくなっているということと、現在工事をしているが、中田原の団地の道路とは、同じ「雨水排水」だが全く違う問題である。そうして整理しておかないとポイントが絞れない。そのため、なるべく具体的に現状を確認把握し、必要があれば我々も現場を見るべきかもしれない。

【高宮会長】

そのため、山口委員が南部地区についてより詳しいということで、正副会長としては今日の会議ではとりあえず山口委員から説明してもらいたいと考えている。

【高橋委員】

とりあえずでは困る。次はどことどこに聞くと決めてほしい。

【高宮会長】

それは聞いてからでないと分からないだろう。

【高橋委員】

山口委員だけの地域ではない。

【山口委員】

私が先ほど話したとおり、今吉村委員からも話があったが、各町内で水が出るとその地域から苦情が出ているが、例えば上門前、小滝、各地域と上（かみ）からずっと来て、少しずつ増えている。その問題もあるし、大雨になると、あの川の幅や

高さでは飲みきれない。そのため、これを解決するとなると、例えばその原因は何かなど、テーマを一つ設定し、各町内会が集合して団体で交渉にあたるということをししないと、単にここで話し合っても解決はできない。そのため、もしこれを本当にやるのなら、高橋委員のとおり、地域の皆を呼び、各町内のここがこうだから駄目だというのを、どこかの場所で、どこかのタイミングでまとめないと駄目だと思う。

【川住副会長】

私の方から山口委員に、現状がどうなっているのか、委員の皆さんに知ってもらうために説明を頼んだ。こういった問題が起きているということを皆さんが知らないと、前に進まないと思う。こういった水の問題というのはいろいろな所が絡んでいるが、皆さんが地域協議会にどのようなことをしてもらいたいか分からないと、地域協議会でこの問題は解決できない。市の係を呼んで説明してもらいたいか。ただ説明するだけで終わってしまうと思う。地域協議会で国や県を動かしてうんぬんというのはとても無理。そのため、今困っている現状や、「地域協議会にこういったことをしてもらいたい」というのを具体的に出してもらわないと話が進まないし、それを聞いても月1回の会議の中でこの難しい問題を解決できるとは考えられない。私もこの前、青木に集まり、どのような環境になっているかについて現状を見てきたが、市の担当もいたし、議員なども集まり、説明を受けている。その中で前に進まないものを、地域協議会の中で取り組むのはなかなか難しい。そのため、市の担当を呼んで説明をする機会を持つことはできるが、それ以上の解決方法というのは、地域協議会の中では無理だと思う。

【高宮会長】

要は、我々委員、私もそうだが、現状が分からない。一番詳しい山口委員からどのような状況なのか話を聞き、その後に、どのようにするか、高橋委員の言われるような形に持って行きたい。そうしないと、分からない人がいたのでは話が進まない。市の担当を呼んで説明を聞いても何だか分からないというのでは、この協議会のあり方がおかしいのではないか。最終的には、高橋委員のとおり、関係する町内会がよいのか農家組合がよいのか話を聞く。川住副会長のとおりに、この16人の中

では結論は到底出せない。そのため、その辺りをどのように持って行くか。現状を我々委員が知らないと言言もできないと思い、説明をお願いした。その辺りを理解してほしい。その必要はないならそれでよいが。そうかといって該当する町内会、あるいは農家組合の方が来ても、話を聞くだけで、その団体自体よく分からないで終われば、ただ聞くだけで終わってしまうのではないか。

【山口委員】

現状は、川幅が狭く、飲みこむ能力がない。そのため、結論としては中田原の下（しも）からずっと改修しなければならない。中江用水と交差するL字のところでつかえてしまう

【高宮会長】

L字になっているとのことだが、我々はL字になっていることが分からない。そのため、説明を聞こうというのが私の考えだが、どうか。聞かなくてよいというのなら、飛ばしてしまう。今の「あそこのL字が悪い」、「川幅が狭い」という話で皆さんが納得できるならそれでよいが、現状が分からない中で協議をするのは難しい。

【吉村委員】

全くそのとおりで、所在地、原因、現時点で行政にどのような希望を出して動いているのか、その辺りは全部整理し把握するべきだ。

根本的な問題だが、「灰塚以南の青田川や大排水路は大水になると必ずあふれて・・・」のことばかり話しているが、金谷区地域協議会であるため金谷地区全域のことを拾っていかないとまずいと思う。中田原、御殿山、昭和町2丁目のこともあるが、原因が全く違う。そういったのも全部拾っていかないといけない。これは農業用水が絡むが、どちらも「雨水排水」である。これに絞るのか。

【山口委員】

全体の中の一つとして、古川の話をした。

【高宮会長】

絞るのではない。「雨水排水」で取り上げるのは色々あるのだろうが、「山麓線開通によって水はけが悪くなり・・・」という意見が出ているため、古川、前川の問題を持ってきた。ただ、御殿山もあるし、昭和町2丁目もあるし、大貫もある。全

部同じ状況ではない。そのため、一つ一つ聞いて理解しようと思っている。

【吉村委員】

一つ一つ順番にしていくということか。

【高橋委員】

前川は今工事しているのだろう。

【山口委員】

工事しているが、ほぼ終わっている。

【吉村委員】

そういったことも確認して聞いてみたい。

【高橋委員】

かなやの里から上（かみ）の方までしている。

【吉村委員】

間知石（けんちいし）を積んできれいにしてある。

【高橋委員】

山麓線ができて、水の流れや水の溜まり具合が変わったのは、古川と青田川の合流地点の辺りである。そのため、青木の町内会の田畑の方に影響がある。

【吉村委員】

最終的に水が溜まるのは青木。青木耕地で水害になる。

【高橋委員】

青木の団地ができた辺りである。あそこの団地は水が浸かりそうだった。

【山口委員】

あそこは全部水が浸かってしまう。灰塚の田畑も全部冠水してしまう。

【高橋委員】

それを説明するには、やはり現場に行かないとできない。私は大体分かるが。

【吉村委員】

私も分かるが、分からない人は全然分からない。

【齋藤委員】

問題の箇所を抱えている町内からどうなっているかについて意見を聴取してい

くということでは話をしていると思うが、上越市で津波や洪水で浸水するのが予想される場所のマップを作っているだろう。金谷地区においては、海岸からも遠いし、関川などの大きな川からは標高的に少し高いため、マップにどこまで入るのか。低い町の方については、一部引っ掛かる場所もあるかもしれない。しかし、20ミリや30ミリのある程度の集中豪雨の時、浸水して危ない場所は実際に発生している。それを一人ひとりから聞いてもよく分からない。被害を受けた、あるいはこうしてもらいたいという要望については、恐らく市へも話が伝わっており、市もずっと対応してきていると思う。そのため、市の方としても、防災マップというか、浸水する場所を把握していると思う。マップ作りはしなくてよい。

【吉村委員】

把握していても腰を上げないため、腰を上げるように促すということである。

【齋藤委員】

まず我々地域協議会委員としても、市から資料をもらい、こういうなっているのだと目で確認し同じ土俵に立つ。ただ闇雲に話を出していても、直接該当していない人間はなかなか理解できない。市でそういったマップがあるのであれば、皆さんに提供する。まず、そのようなものがあってもよいと思う。具体的に「ああする」「こうする」というのは、別の話になる。地域協議会としては、どこまで「雨水排水」について協議できるのか、要望できるのか、あるいは市に自主的審議として上げていけるのかということを確認できるとよい。まずはマップを手に入れる。それを確認して、我々がもらえるものであれば、1部ずついただきたい。

【竹内委員】

このメンバーになる前に、一度地域協議会で現場を一通り見た。古川というのは私も分からないが、古川以外は現場を見に行ったはずである。大貫では、ポンプで水を汲み出す場所を見せてもらった。水溜まりの部分に水がどんどん溜まるため、ポンプで排水するのだと話を聞いた。昭和町2丁目も、1丁目から流れている水が皆ここに集中するため、ここで水が浸かると見せてもらったことがある。

【高宮会長】

今の委員の方々は分からない。

【竹内委員】

このメンバーではないため、現場をまず見てみるしかないのでは。

【吉村委員】

その時の資料が残っていれば、参考にはできないか。古くて現状とは全然違うという話になるか。

【竹内委員】

多少違う部分もある。昭和町2丁目は排水工事がこの間終わったばかり。中田原も話を聞いたところ、あと少し。

【吉村委員】

私はゴルフの練習に中田原をよく通るため、経過は分かる。両側の側溝はもう伏せ終わった。勾配を取り直した。

【永野委員】

両サイドをかさ上げした。

【吉村委員】

勾配がなくて水が流れないと言っていた。

【永野委員】

下がっているところを上げた。

【吉村委員】

団地ができた時、散々何とかしてほしいと市に掛け合い、やっと今形になってきた。

【永野委員】

20年かかった。

【吉村委員】

あとは路面を正式舗装すれば完了だと思う。

【竹内委員】

現場を皆さんから見ていただいて、ここは少し解決したと判断してもらえない。うちの町内も、水がつくような場所はないと判断して、何も対策していないと言ったら、大きな雨が降ると水が浸かるのではないか、対策を考えてほしいという

意見が出てきた。

【川住副会長】

いろいろと意見が出ているが、雨水排水の問題は、基本的には町内会長と役所で細かい打ち合わせをしようと思う。地域協議会が現場に行って話すということはほとんどない。

【吉村委員】

我々は我々の立場で行く。

【川住副会長】

その中で、「こういうことをしてもらいたい」というのをここに挙げてもらう。

今の話をまとめると、金谷区全体の困っているところを今後協議していく。古川に限らず、全体を見ていこうという意見になってきているような感じがする。

【山口委員】

古川に特化するということから説明した。そういうストーリーで行くのか。

【川住副会長】

最初は古川の問題から一つずつ進めていくという話もあったが、委員の話を聞いてみると、金谷区全体の問題として取り上げようと進んできているような気がする。そちらの方向に進めることでよいか。古川の問題だけでなく、金谷区全体を見ていく。

この問題は、市の担当を呼び、現状がどうなっているかしっかり聞く必要がある。そのため、今後金谷区全体の「雨水排水」について、市の担当者呼んで説明を受けたらどうか。

【高宮会長】

川住副会長の言われたとおり、金谷区全体の「雨水排水」の問題を取り上げるとい話について、いかがか。全体で見ていくのであれば、市の担当者から来てもらい、詳しく説明を聞くという方向に持って行くか。

【土屋委員】

皆さんの意見と観点が違うのだが、資料には、山麓線の開通によって水はけが悪くなったと書かれているが、山麓線の開通によって全部が悪くなったのか、それと

もこの部分が悪くなったのか。解決方法の話を知っていると、山麓線の開通の話よりも川幅の話が出ている。山麓線の開通によって、私は金谷区に引っ越してきた。山麓線ができたおかげで便利になると思って来た。しかし、実は山麓線の開通によって、こういった雨水の問題でいろいろな苦情が来ているとなれば、私にとっては新しい発見になる。私にとって山麓線は便利であるため、山麓線を悪く言われると山麓線が可哀想と感じてしまう。山麓線のこの部分だとか、ここは山麓線ができる前から元々水はけが悪かったが、できたことによって川、用水に落ちて行き、あふれることがすごく増えたとか、もう少し具体的に示してもらえるとありがたい。山麓線ができたことで引っ越してきたとか、土地を売る人も山麓線の便利さを訴えて紹介すると思う。しかし、実際に来てみたら雨水の問題があると。もう少しその辺りを具体的にした方がよい。山麓線のどの場所かなどを聞けるなら聞きたい。今すぐでなくてよい。

【吉村委員】

元々癖が悪かった。山麓線ができて余計に顕著になってしまった。

【山口委員】

山麓線ができて、膨大な面積が舗装されてしまったためだろう。今までは田んぼの細かい水路を通り、自然沈下もあったが、それにより、平生でも雨が降れば大量に流れる。プラスアルファで多く流れるというイメージである。そのため、対策として川幅を広くしてもらおう。そこまでのアプローチをどう地域協議会で認識して上に投げ掛けるのかという話である。

【高橋委員】

資料にある「山麓線開通によって水はけが悪くなり・・・」というのは、言葉を間違えているのではないかと思う。山麓線の開通によって水はけが悪くなったのではなく、山麓線の開通によって4車線化して、排水の量がものすごく増えた。道路は良くなった。今までの田んぼのへりの用水や山麓線の下側の側溝が小さく、道路の面積分の雨水が増えてしまったためにこういった現象が起きただけで、山麓線が悪いわけではない。

【吉村委員】

あそこは元々癖が悪いところだった。

【高橋委員】

山麓線ができる前から、灰塚の辺りの田んぼの方は大雨になると水が入っていた。山麓線が開通してからより増えたというのは、山麓線の道路の分だけ水が余計になったということである。その前から、県や市で末端までの排水を計算し、山麓線の道路の側溝の排水の状況をきちんと見ておけばよかったのにできてなかったという話である。なかなか難しいが、青木の団地の人たちは大雨が降る度に水が入ってくるため、寝てもいられない。それは今の山麓線ができてからの話である。結局、山麓線の側溝の西も東も排水の計算がうまくいってなかったということである。今県にもいろいろと話をしていると思うが、話が進むかどうかは今のところ分からない。

【齋藤委員】

向橋のダムは、雨水排水関係の部分での活用というか、道路の排水を集めて持っていってくれるのか。

【川住副会長】

ダムと水があふれることは全く関係ない。川の流れが全く違う。儀明川と沢山川というのは、灰塚とは違う場所、寺町に近い場所にある。水を持ってくるというのは無理である。

【齋藤委員】

儀明川ダムの排水は地下を流すのか、それとも今ある川の川幅を整備して、そのまま流すのか。

【高橋委員】

水の量は変わらない。

【齋藤委員】

山麓線の水を含めての話である。

【川住副会長】

儀明川に流すということか。

【齋藤委員】

道路を成形した時に排水も設計している。道路と排水関係は関連性がある。その辺りを全てカバーしておかないと、道路はできた、排水はできる、水は知らないという話ではおかしい。その辺りはどうなっているのか。もし間に合わなければ、儀明川ダムと接続して、少しでも排水を助けようという話があってもよい。

【吉村委員】

話を元に戻す。要するに、灰塚以南ではなく金谷地区全体として、地域協議会の立場で考える。担当地域全体を考える。市の担当者から来てもらって説明を聞くという話が出て、先々そうなると思うが、その前に、我々は我々で、どういうことになっているのか、問題点を確認整理すべきだと思う。市に何も陳情していない物件が出てくるかもしれない。それは各町内会長宛てでよいだろう。それから、話を聞き資料を見せてもらう、という進め方がよい。それには、地図を1枚作っておくべきだと思う。

【高宮会長】

この「雨水排水」の問題は、要は山麓線ができて水はけがよくなったために、その前からそうだったが、前川、古川のところであふれるというところから。

【高橋委員】

前川は関係ない。前川は前川。古川は古川である。

【高宮会長】

資料にある意見をもとに、よく分かる山口委員から話を聞こうという意見を出したが、高橋委員からは金谷区全体を取り上げたらどうかという意見だった。6か月前の、資料にある意見とは違う意見が出てきた。

南部地区から取り上げるか、金谷全体を一括して取り上げるか、採決を取ることを諮り、委員全員の了承を得る。

採決の結果、南部地区から取り上げることが賛成多数だったため、南部地区から取り上げることに決する。

【齋藤委員】

マップ作りはどのようにするのか。先ほど話が複数出ているのだが。市から話を聞くだけで、マップ作りはしないということか。

【高宮会長】

山口委員から説明を聞くにあたり、事務局で作成した古川の地図を皆さんに配る。

【齋藤委員】

金谷全体のもの。市の方で把握している部分があると思う。それをまず確認する。
それは先ほどとは別の話。私としてはまずマップが欲しい。

【高橋委員】

金谷地区全体のものか。

【齋藤委員】

なければならないでよい。

【高宮会長】

聞いてみる。

【高橋委員】

各町内会では自分の分を持っているだろう。全戸配布している。

【山口委員】

部分部分でよい。それにマーキングする。

【佐藤係長】

高橋委員、それは市の危機管理課で配布しているハザードマップのことか。

【高橋委員】

ハザードマップのことである。それに載っている。

【佐藤係長】

それなら全世帯に配られている。

【吉村委員】

用排水のことは描かれていないのではないか。

【高宮会長】

私の方で、そういったマップがないか聞いてみる。なければ作る。

【齋藤委員】

それに載っていればよいが、載っていないだろう。津波は関係ないから。

【高宮会長】

見てみないと分からない。時間をもらい確認する。

【佐藤係長】

それとは違うのではないかという話もあったが。

【高宮会長】

ハザードマップを見ながら作るということだろう。

【佐藤係長】

そうではなく、そもそもマップとはどのようなマップなのか。

【高宮会長】

マップとは、「雨水排水」の水があふれるところだろう。

【吉村委員】

工事図みたいなものに入れないと。用排水系は道路地図には出てきていない。田んぼの割り付けのようなものが書いている地図である。

住宅地図には入っていないか。

【山口委員】

恐らく入っているだろう。

【吉村委員】

住宅地図にも用水排水が波線が入っているだろう。ハザードマップは、道路の危険箇所などが整理して見やすく描いてあるため、細かい耕地の割り付けや用排水の流れまでは描いていない。そういった図面は別にあると思う。

【高宮会長】

マップについては私も調べる。

【齋藤委員】

私も市役所に行って聞いてみる。

【高宮会長】

金谷区の南部の方から入っていくことに決まったことから、そこに入っていきたい。まず、山口委員に説明を求める。

【山口委員】

先ほども説明したが、配布された地図を見ていただくと分かると思うが、古川が

団地周辺で曲がった後、稲荷中江用水の下をくぐるのに、ボックスになっている。そこで水が流れなくなる。

【高宮会長】

団地を作った時に、田んぼを1枚の区画として道路を作った。団地になる前は田んぼの横に用水が流れていた。そこを用水もそのまま残して団地造成したため、雨がいっぱい降った時、直角になる場所で水があふれる。

【山口委員】

高宮会長が話したとおりだが、この水が下（しも）に下りていかないため、左右の団地や田畑が全部冠水してしまう。ずっと下（しも）の南高田の方まで全部改修しないと、下（しも）に流れていかない。

【齋藤委員】

排水が問題だったのか。

【高橋委員】

そんなことはない。結構高い。普段は何ともないが、雨になると一気に増える。

【山口委員】

元々この団地は深い沼地みたいなところだった。団地だけでなく、田畑も皆大変である。

【齋藤委員】

以前はどこまであふれたのか。団地全体か。

【山口委員】

団地も含む、田畑全部である。湖のようだった。必ず年2回はあふれる。

【齋藤委員】

床下までか。

【山口委員】

そのとおり。

【齋藤委員】

それはまずい。

【川住副会長】

山口委員や他の方も現地を見ている。直角に曲がった先に、用水の下をヒューム管がくぐって水が出ている。そのヒューム管の飲み込む容量を変えれば、かなり解決できるという説明ではなかったか。

【山口委員】

そのとおりだが、そこを解消すると、下（しも）の方の上越妙高駅周辺が冠水してしまう。だから難しい。

【川住副会長】

そこだけ変えても駄目ということか。

【高宮会長】

今回の会議では、市の対応、市の現状について、担当課を呼んで説明を受けたいと正副会長では考えているが、よいか。

【高橋委員】

その時に、関係町内の方に傍聴席に来てもらうよう連絡してほしい。

【川住副会長】

傍聴で聞いてもらう分にはよいのでは。

【村田副会長】

金谷区全体ではなく、南部の町内、12町内でよいか。

【川住副会長】

向橋は関係していない。

【高宮会長】

これは町内会が担当しているのか、それとも農区が担当しているのか。

【吉村委員】

町内会でも農区でもどちらでも対応している。

【高宮会長】

どちらがよいか。

【吉村委員】

町内会長宛てにもらえば、農区の関係なら町内会長が農区に伝えると思う。そのための窓口は町内会長でよい。心配なら、町内会長と農区と宛名を併記すればよい。

【高宮会長】

今回の会議の時に、該当する南部の町内会長からも出席してもらい、傍聴してもらおう。

【伊藤委員】

今回の会場は滝寺ではなかったか。

【川住副会長】

滝寺では無理。話が通じなくなってしまう。その次の会議である。

【高橋委員】

前川の方はどうするのか。古川は分かったが、前川は南部の方で取り上げるのか。

【竹内委員】

前川の工事は、あとは上門前だけか。

【高橋委員】

去年はそこまで終わっている。

【竹内委員】

その後、小滝の辺りをしていた。

【高橋委員】

小滝のところまで行った。

【高宮会長】

今回は滝寺での出張協議会になるため、その次の会議で市の担当課から来てもらい説明を受けること、そこに南部地区の町内会長から来てもらうよう案内することでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

—その他—

【高宮会長】

9月26日滝寺集落開発センターで行う出張協議会での議題について、どのような議題にするか、委員に意見を求める。

【村田副会長】

以前まとめた「金谷区の地域課題について」から決めて行ったらよいのでは。

【川住副会長】

「雨水排水」は次回の次回であるため、次の「観光」に行ったらどうか。

【村田副会長】

順番からすると、それが筋だと思う。

【高橋委員】

前回のよう、傍聴人から「やることなくこんなことをしているのか」という意見が出ないようにしてほしい。

【山口委員】

滝寺の清水について、地元の人から聞いてみたいと思う。全然分からないので。

【川住副会長】

滝寺は前からいろいろな地域活動支援事業などの提案が出されたり、金谷区の中では観光名所がたくさんある場所であるため、観光に対して非常に興味もあるだろうし、滝寺の金谷北地区農村元気会で農産物を売ったりもしている。滝寺に合った議題かと思うため、前回のよう話にはならないと思う。

【高宮会長】

次回会議で取り上げる地域課題を「観光」を取り上げることでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

ここで、前回の意見交換で出た黒田小学校の件について、報告がある。会議の後、正副会長で発言の内容を再度確認し、話をした。そして、もう1度発言者である黒田小学校の早川後援会長にどのような考えか詳しく聞きたいと伝えたところ、私の発言内容についてはそこまで煮詰めていないため保留にしてほしい旨の返答が来た。意見がまとまり次第、申し出があるとの話であった。

— 次第4 事務連絡 —

【高宮会長】

次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程

第6回地域協議会（出張地域協議会）

9月26日（水）午後6時30分～ 滝寺集落開発センター

- ・配布資料

平成29年度上越市地域活動支援事業 事例集

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。